

健康と光線

腎臓のはたらき

腎臓は腰の上下方の背骨の左右に一ずつ二個あり、心臓から送り出された血液の約四分の一が流入します。これを腎血流量と呼び、腎臓はこの血液を濾過して濾液から必要な成分を再吸収して体液の組成を正常に保ち、水分の出納バランスや酸塩基平衡を調節し、蛋白代謝産物のクレアチニンや尿素のような老廃物を排泄する尿を生成する一方で、血圧を上昇させる物質(レニン)や造血を促す因子(エリスロポイエチン)を分泌し、ビタミンDを活性化するという重要なはたらきをしています。

腎臓の主な病気と症状

腎臓の病気は検尿で蛋白尿を認めるので見付けられるのは容易です。しかし腎臓の病気の厄介な点は両側の腎臓を侵し尿毒症の原因になることです。主要な病

気は免疫異常の糸球体腎炎、糖尿病から二次的に起こる糖尿病性腎症ですが、高血圧、痛風、膠原病、妊娠などで起こることもあります。また主に片側の腎臓の病気(腎盂腎炎など)が両側の腎臓に起こることもあります。

両側の腎臓が侵されると、腎血流量が低下して尿量が減り、尿中に排泄される水分や塩類(食塩、カリウムなど)が溜まってむくんだり、老廃物が体内に残るため、腎臓は腎血流量を増やそうとレニンを分泌し血圧が上がります。

腎臓の病気の治療の中心

腎臓の病気の場合、原因の病気の治療や個々の症状に対応した薬が使われますが、腎臓の病

腎臓の病気と治療

— サナモアの併用効果について —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

目的で尿中に排泄しなければならぬ老廃物の元になる蛋白質や塩類の摂取量を制限しますが、カロリー不足を起こさないように糖質や脂質は増やします。

尿毒症と人工透析

腎臓の機能が30%以下に低下すると腎不全と呼ばれますが、

更に進行して5%を割り込むようになると、尿量が減少し、尿中に排泄される老廃物が多量に体内に残り、循環器、呼吸器、神経・筋、消化器、血液、骨、皮膚などに多彩な症状を呈するようになります。尿毒症と診断されます。こうなると人工透析療法以外に救命する手立ては残されていません。

腎臓の病気に対するサナモアの効果

腎臓の病気の治療は、腎血流量を増やし、腎臓に負担となる食事を制限して自力回復を促すことにありますが、同時に原因になる病

気の治療が極めて重要です。殊に尿毒症の原因は以前は慢性腎炎が多かったのですが、近年、糖尿病性腎症が著しく増加しました。

サナモア光線療法は、自然の摂理にのっとって病気を闘う治療力を高めます。腎臓では腎血流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下して尿量が減少するような状況下では一層の利尿効果を認めます。あわせて糸球体腎炎の免疫異常の抑制、糖尿病をはじめ二次的に腎不全から尿毒症を併発する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防します。

ところで尿毒症に対する人工透析療法は、患者を救命する唯一の治療法ですが、さまざまな未知の合併症の存在が知られるようになりました。その一例として透析患者を苦しめ、有効な薬がない合併症に頑固なかゆみを訴える皮膚掻痒症があります。サナモアは透析患者の全身状態を良好に保ち、かゆみの予防、治療にも大変良く効きます。(七・八面に関連記事)

迎春

平成十四年 元旦

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(五日より営業します)

一病息災

一病息災

五十肩(肩関節周囲炎)

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

五十肩は、加齢にともなう退行性変化が原因で、40〜50歳代にかけて、明らかにきつかけもなく発症し、肩の痛みと運動障害を生じ、多くは、数年で自然に治る疾患で、肩関節周囲炎と呼ばれます。筋肉や腱などの組織は、長期間の不動または使いすぎにより、伸縮性の減少や萎縮など、組織上の変化を生じま

すが(退行性変化)、五十肩は、このような退行性変化を基盤として発症し、関節包や滑膜、腱や腱板など肩関節周囲の組織に生じる炎症性疾患と言えます。特に、肩の回旋を行う筋肉の腱が集まって作る腱板や、力こぶを作る上腕二頭筋の腱は、肩関節の運動時に圧迫や摩擦を受け退行性変化を生じ、五十肩の原因となりやすいのです。主な自覚症状は、徐々に起き

る肩の痛みで、だるい、重いという程度のもので、激しい痛みのもので様々で、運動は、あらゆる方向に制限されます。特に、腕を回す、髪を結う、腰の後ろでひもを結ぶ、背中をかくといった動作が困難となり、重症例では、癒着と痛みのため関節の動きが制限され、肩関節がほとんど動かせなくなる場合もあります(凍結肩)。

症例：59歳、女性

主訴：右肩関節周囲の痛み。右上肢挙上困難。

起始・経過：4年前に一度五十肩(肩関節周囲炎)と診断されたが、この時は、約1か月で痛みは軽快した。以後、右肩周囲が重く感じられることがあったが、本年2月、再び、右肩周囲の痛みが増強。歩行時にも肩に響くような強い痛みを自覚し、上肢の挙上が困難となった。初診時、右上肢の可動域は、約45度外転できる程度であった。

治療：①左側臥位にて30分、4灯照射を施行。右肩甲骨付近から頸部にかけて(BB)照射し、同時に腹部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)にも照射。

②座位にて20分、右肩を前後からはさむように、2灯で照射(BD)した。なお、治療終了前に関節拘縮予防のため、上肢の挙上訓練を施行した。

経過：5回治療施行した頃から、徐々に歩行時に認められた肩に響くような痛みは軽くなり、肩関節の可動域は拡大され、上肢を肩と水平の高さまで挙上可能となった。12回終了時点で、痛みは軽くなり、日常の活動範囲も広がってきた。16回終了時には、上肢の挙上が、肩の高さ以上まで可能となり、今までできなかった布団の上げ下ろしも可能となった。

病気と光線療法

五十肩の治療は、肩関節周囲の組織の炎症を抑え、痛みを和らげるとともに、関節拘縮を予防することにあります。サナモア光線療法は、この治療目標に適した療法と言えます。実際の効果は、治療前後で、上肢がどの高さまで挙上できるかを比較すると明らかで、治療後には、今まで手の届かなかった箇所に手が届くようになり、その効果を実感できます。このような関節可動域の拡大が、治療直後より見られる理由は、サナモア光線療法には、消炎鎮痛効果の他に、関節を構成する組織全体の血液循環を改善し、筋肉の柔軟性を著しく向上させる作用があるからです。また、慢性期には、関節の拘縮を予防することが重要ですが、サナモア光線療法と肩関節の機能訓練を併せて行うことによって、関節拘縮を予防することが可能となります。

現在、五十肩で日常生活に不自由を感じている方は、ぜひ、関節拘縮が起きる前の早期の段階から、サナモア光線療法をお勧めします。

**第五期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講**
前号でお知らせした第五期サ
ナモア光線治療師養成講座を、



サナモア便り

vol.8

宇都宮 正範



十一月に東京にて開講しました。今回は、福岡、京都、愛知からの参加者を含め七名でしたが、治療院の開業を間近に控えた方が多かったためか、休憩時間にも光線療法についての討論が飛び交うほどの熱気のなか、四日間の講座を無事終えることができました。今春以降も引き続き、春と秋の二回、治療師養成講座を開講する予定ですので、すぐには開業予定のない方でも、光線療法について勉強したいというお考えをお持ちでしたら、是非、ご参加下さい。

第八回「光と熱研究会」のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のサナモアご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時…一月十九日(出) 午後二時
場所…サナモア光線治療院

三階会議室

治療院紹介

このコーナーでは、新規に光線治療院を開業された先生方や、既に開業されてご活躍中の先生方を紹介させて頂いております。

ひばりヶ丘治療院

(平成十三年十二月十日開院)

電話…〇四二四一三三七三三

住所…西東京市谷戸町三一二七一

二四

ひばりヶ丘プラザ二〇三

交通…西武池袋線ひばりヶ丘駅

南口徒歩二分



野島豊子先生(左)
野島秀雄先生(右)

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

院長…野島豊子先生

一言…サナモア光線との出逢いに恵まれ、大変うれしく思っております。患者さんの声を聞き、明るく楽



藤山悠紀子先生

春日井光線治療院 (写真下)

(平成十四年一月八日開院予定)

電話…〇五六八三三四一八二三

住所…愛知県春日井市如意申町

八一三三四

交通…JR勝川駅からバスで十

分、如意申バス停下車徒

歩五分

院長…藤山悠紀子先生

一言…皆様の美と健康を高めるためのお手伝いをさせて頂きます。

第13回

日本療術学会から

広島県広島市・広島全日空ホテル
平成十三年十一月十一日、十二日

シンポジウム

首から上肢にかけての痛み



全療財団光線部門

代表世話人 宇都宮光明

頸肩腕痛の病因

首から上肢にかけての痛みは頸肩腕痛と総称されるが、光線治療では患部と関連部位への照射が不可欠なため発症機序の鑑別診断が求められる。

神経原性で頸椎の脊椎髄節の障害を伴う場合は、頸肩腕痛に歩行障害や膀胱直腸障害を伴うことがあり、日常的に経験する

のは頸部脊椎症(変形性頸椎症)や頸椎椎間板ヘルニアである。頸肩腕痛の病因が第5頸神経から第1胸神経の神経根、5根の吻合で形成される腕神経叢、および上肢を支配する末梢神経の障害の場合は、障害部位から末梢の神経症状に血液循環障害に伴う症状を認める。これには神経が首の筋肉や第一肋骨と鎖骨の間や小胸筋の下で圧迫される胸郭出口症候群、手根管で圧迫される手根管症候群などがある。

関節原性の場合には、動作に伴い患部に限局した痛みを訴える。代表的疾患に肩関節周囲炎(五十肩)、上腕骨外顆炎(テニス肘)などがある。

なおキーパンチャーのように手を酷使する作業に従事する人の頸肩腕痛を狭義の頸肩腕症候群と呼び、筋肉や靱帯の疲労、血流障害、精神的な要因などが関係するとされる。

即効性の鎮痛効果

頸肩腕痛の治療で真っ先に求められるのは即効性の鎮痛効果である。光線療法の鎮痛効果は、患部とその関連部位に照射する

ことにより、赤外線の高深達性の温熱作用で深部体温が上昇するのに対応して血流が増して循環障害を改善し、発痛物質の吸収、排泄を促し、筋肉を弛緩させることに加え、紫外線の光化学作用(光産物)による末梢血管拡張作用や可視線の物質代謝に及ぼす影響が加味されて発現する。

したがって鎮痛効果と患部への照射量との間にある程度の相関関係が成立する。すなわち痛みが激しいほど照射量、照射回数を増す必要があり、確実な鎮痛効果を得るためには照射時間を長くするとか治療器の台数を増やすとか治療法について工夫が必要になる。

実際に頸肩腕痛の患者を一台の治療器で治療して確実な鎮痛効果を得るには、患部に最短でも30分以上、関連部位への照射時間を加えると合計1時間以上になることが多い。そのためサナモア光線治療院では四台から五台の治療器を用い、閉鎖空間内で熱気浴の原理を応用した多灯照射、すなわちルーフ式マルチアーク療法と名付けた治療を

行っているが、光線療法に温熱療法の効果を加えることで全身の血行を最大限促すことが出来るため、患部の特定が困難な頸肩腕痛の場合でも即効性の鎮痛効果を得やすい利点がある。なお照射を始めてから一過性に痛みが増すことがあるが、患部の循環障害が改善する過程で見られることで、継続して照射することで鎮痛効果が得られることになりはしない。

治療を反復、継続することによる治癒機転の促進

頸肩腕痛の治療は単に鎮痛効果に止まることなく、持続的に症状が消失する臨床的治癒の状態に導き、ADL(日常生活動作)に支障を来たさないようにすることである。殊に最も多く経験する加齢による頸部脊椎症や肩関節周囲炎では、退行変性(骨粗鬆症、軟骨の変性)、長年にわたる関節への荷重負荷、治癒力の低下が病変を遷延させ悪化させる要因となる。これに対し光線療法は、患部の血流を促し、末梢血管を拡張して血管透過性を亢進させて代謝を促すこ

とで自己の治癒力を引き出す効果に加え、光線に特有な効果として細胞の分化誘導作用を持つカルシウム調節ホルモンのビタミンDを生成する作用がある。ビタミンDに異常骨増殖による骨棘の形成を促す骨粗鬆症の治療効果があることは周知であるが、軟骨細胞にもビタミンD受容体があることから軟骨の再生に関わる可能性が示唆される。またカルシウムの生体内分布の恒常性を保つことで、神経線維を囲むミエリンの再生を促し神経症状を改善する効果がある。すなわち光線療法を反復、継続することは、これらの効果が総合的に作用して治癒機転を促し、頸肩腕痛を病因から改善して臨床的治癒に導く効果が期待できるのである。

結語

頸肩腕痛の患者は、文明の進歩、それに伴う筋力の低下、人口の高齢化などさまざまな要因によって増加することは確実視されている。この頸肩腕痛に対する光線療法の有効性について述べた。

第13回

日本療術学会から

広島県広島市・広島全日空ホテル
平成十三年十一月十一日、十二日

感染症に対する 治療効果



社団法人 神奈川療術師会

海渡 一二三

はじめに

日光浴をすると風邪を引かない、と古来より言い伝えられているように、太陽光線には病原性微生物に対する抵抗力を高める効果がある。演者は太陽光線に近似した光線を放射するサナモア光線療法を感染症の治療に用い効果を認めてきたが、右大腿骨骨折の手術後に慢性化膿性

骨髓炎を併発した症例と面疔で両まぶたが開かないほど腫れ上がった症例の二症例で経験した治療効果について報告する。

症例・治療方法・結果

患者1 26歳 男性 公務員

〔診断〕右大腿骨骨幹部骨折の手術後に併発した慢性化膿性骨髓炎。

〔現病歴〕一年前に交通事故で右大腿骨骨幹部の遠位部を骨折し病院で金具で固定する手術を受けたが、術後に化膿性骨髓炎を起し、大腿部外側の手術の傷痕が開いて瘻孔を形成して膿汁が出続け、骨が壊死して腐骨を形成したため再手術を受けた。

しかしその後も排膿は続き、それから二回の廓清手術を受けたが完治せず、手術創が開いて膿汁が止まらないため、知人にサナモア光線療法を勧められて来院した。

〔初診時所見〕右足の大腿部外側の手術創は縦に10センチほど傷口が開いており、悪臭のある

膿汁が出て痛いと言っていた。なお膝が曲がらないためビッコを引いていた。

〔治療方法ならびに結果〕治療は四台の治療器を用い患部照射に併せて全身照射をした。カーボンとは病状、経過を診ながらBとC、BとD、AとBを組み合わせて、患部に60分、全身の各部には体位を変えながら各10分15分毎日照射した。治療を始め

て当初の三ヶ月間は患部から黄色い膿汁がドクドクと出て悪臭が強かったが、更に治療を続けるところ膿汁は減少し、六ヶ月を終えた頃から膿汁が出なくなり、悪臭は消え、瘻孔がふさがってきたので、患部照射を30分にした。その頃のレントゲンフィルムには、造骨した骨と腐骨との間にはつきり境が出来ており、骨新生にあわせて慢性骨髓炎が

治る過程が確認できた。更に三ヶ月、合計九ヶ月間治療したが、骨は元通りに復元して完全に原形を取り戻していた。なお患者の大腿骨には固定金具が入った

ままで膝が十分に曲がらないため、金具を取り除く手術を勧めたが、患者は手術を望まず歩くことに不便は感じないと放置している。

患者2 28歳 女性 オペラ歌手

〔診断〕面疔。

〔現病歴〕頭のおでこで抗生剤を服用していたが、顔の左右の睫毛の間の眉間のところにおでこ（面疔）が出来、急速に赤く腫れ上がって強い痛みがあり、発熱して苦しみ出したため、劇団の上司から治療を依頼された。

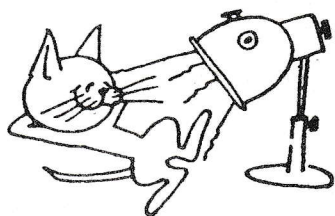
〔初診時所見〕顔は両まぶたが開かないほど赤みを帯びて腫れ、痛みを訴えていた。

〔治療方法ならびに結果〕前例に準じて多灯照射した。治療は面疔の患部に60分、全身の各部には各々10分程度照射した。治療二日目に自壊排膿し、まぶたが開いてきて、解熱した。四日には完全に膿汁が出なくなり、排膿した穴がふさがった。六日目には顔の腫れは全くなり、

患者は「私って本当は可愛いよ」と言っていたが、目鼻立ちの整った中々の美人であることに認識した次第である。

考案ならびに結語

光線療法の感染症に対する治療効果は、光線の直接作用と間接作用の両面から考察する必要がある。直接作用として殺菌作用や局所充血作用があり、皮膚や粘膜の創傷や潰瘍や瘻孔等に応用して効果がある。すなわち表在性感染を起こしている患部では、殺菌効果と共に損傷された組織の肉芽の性質を良好にし再生を助けるのである。しかし殺菌作用がある紫外線は透過力が弱いことから、深部感染に対する効果は間接作用に帰すべきであり、患部の充血に加え、白血球の食菌能の増強、免疫力の強化による抵抗力の増進等を目的に全身に照射することで治療機転が促進する。したがって感染症の治療では患部照射と全身照射を併用することで最大の効果が得られるのである。



治 験 例 報 告

☆胃潰瘍

症例 47歳 男性 会社員

症状 七年前に胃潰瘍と診断され、薬物治療で一旦軽快したが、その後、再発を繰り返していた。

三年前、再度、胃潰瘍が再発した際に、胃潰瘍の再発防止にはサナモア光線療法が良いと友人に勧められて来所した。

療法経過 最初に、B Dカーボンにて、集光器を用い、胃の付近を前方から30分と後方から20分照射した。次に、腹部10分、背部10分、腰部10分の照射後、再び集光器を用い、後頭部10分、肛門10分照射。その後、A

Bカーボンにて、足裏20分、膝

10分照射した。三回の治療を施行後、在宅光線療法を毎日二回のペースで開始。一週間後、空

腹時の痛みと胸やけは軽減し、

一か月後には、自覚症状はかなり改善し、心窩部の痛みや不快

感は認めなくなった。その後の

経過は良好で、胃カメラ検査でも問題なしと言われており、光

線療法を始めて二年半経過した現在では、多忙な日々を過ごさ

れているが、再発はなく、心窩部の不快感に悩まされることもなく、元気に仕事に精を出して

☆結膜下出血

症例 63歳 男性 農業

症状 朝、家族に両目が赤くなっていることを指摘され、不安になり、治療目的にて来院した。初診時には、両側の眼球結膜に出血斑を確認したが、他に自覚症状は認めなかつた。

いる。

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八一三三二一三三八

☆帯状疱疹後遺症

症例 90歳 女性

症状 約一年前、右腰から右臀部にかけて痛みを自覚したが軽快。本年の春頃から、今度は右肩から右背部にかけて痛みが出現したため、近医受診したところ、帯状疱疹後遺症と診断され治療を受けたが、改善しないため、親戚の紹介にて来所した。

療法経過 カーボンは当初B

Bを使用し、改善してからA Bに変更した。側臥位、閉眼

にて、顔面60分、腰部10分、

膝10分照射後、後頭部15分、

腹部15分、足裏15分照射した。

次に仰臥位に変更後、右顔面、

左腰部、右膝側面に同時に5

分照射。その後、左顔面、右

腰部、左膝側面に5分同時に照射した。その後、在宅での

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

療法経過 週に二回のペースで

治療を開始。一回目の治療は、A Bカーボンを使用し、右肩から右背部に40分、右腰部から右

光線療法も並行して開始。顔

面、後頭部、腹部、腰部、膝に照射するよう指示したところ、

十三日で完治した。当院では、

今まで同様の患者を5人ほど

治療して完治しており、結膜

下出血に対しては、サナモア

光線療法が有効であるので報告した。

川崎市 東京光線療研

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二一五〇六七

福岡県春日市

育美健康光線療研

山崎 いづみ氏報告

TEL 〇九二八 五八一二〇三九 五七二一五七三

尿/毒/症/と/人/工/透/析/療/法

医学博士 宇都宮光明

尿毒症は腎不全の末期症状で、腎臓の機能が極度に低下した状態です。腎不全には急性腎不全と慢性腎不全がありますが、尿毒症になると、正常人では平均して1500ml前後ある尿量が極端に減少し、乏尿（400ml、100ml）とか無尿（100ml以下）と呼ばれる状態になり、体内に余分な水分が溜まって強い浮腫（むくみ）を生じ、代謝産物の老廃物（尿毒素）が排泄されな

るように排泄臓器としての機能を失った腎臓に代わって、人工的に水分の出納バランスを調整し老廃物を排泄して、血液の成分組成を正常化しようとする治療法が人工透析療法で、人工腎臓を用いる血液透析と患者自身の腹膜を用いる腹膜透析（腹膜灌流）があります。

今回、体験記を寄稿して下さった尾崎氏は、医師から尿毒症の原因は慢性腎不全（慢性糸球体腎炎）と診断されています。人工透析療法を受けるきっかけになったのは、腎臓が広範囲に侵され尿濃縮力が低下したのを補う代償性多尿の状態から無尿になり、体内に水分が貯留し、尿毒症の合併症の中でも重篤な肺水腫を起こして呼吸困難になったためです。このように尿で水分の調整が出来ずに肺水腫を起こせば、透析療法で水抜きするしか助ける術はなく一刻の猶予も出来ません。私は尾崎氏から発病の状況をお聞きして、透析以外に選択肢はなかったと思います。

尾崎氏は入院直後には血液透析を受けていますが、その後は今日まで患者自身の腹膜を用いる腹膜透析（腹膜灌流）の内、家庭で出来るCAPD（持続性可動的腹膜透析法）を行い社会復帰されています。一般的に慢性腎不全から尿毒症になり透析療法に入ると、尿の出が悪いところに透析療法で水を抜くため無尿が続く、患者は透析で抜ける水分量との兼ね合いから水分摂取量をかなり厳しく制限され、腎臓移植以外に透析療法から離脱できないのが普通です。

ところで尾崎氏の場合、通常の透析患者の経過とは異なる点が多々あります。中でも透析療

サナモア光線療法

体験記



青森県八戸市
尾崎弦司様 39歳

平成12年10月10日、尋常でない倦怠感と胃痛及び呼吸困難を感じていた私は青森労災病院へ診察を受けに行き、最初は内科

法を始めてから一年以上を経た今日まで、利尿がついて1500ml以上の尿が出ていることです。尿量が確保されているのですから、透析患者を悩ます水制限の必要はありません。寄稿文に添えられた検査成績の推移も予想以上の好結果です。また全身状態も良好であり、高率に合併し患者を苦しめる皮膚掻痒症も起こしていません。

私は過日、尾崎氏にお会いし

で血液検査と尿検査をして帰宅する予定でした。しかし検査終了後、歩けなくなる位具合が悪くなり、それを見兼ねた内科の医師が至急検査を急いでくれて、その診断結果が肺水腫を併発した慢性腎不全という事で即日入院し、翌日からは一週間血液透析を行い、その後、腹膜透析に切り替え、約一カ月半の入院生活之余儀なくされました。入院してすぐ担当の泌尿器科の医師から、一生透析しなければならぬとの宣告もされました。そ

た時に、「一時的に透析療法を中断出来ないか、担当医と相談したら」と話しました。それ程、経過は良好ですが、担当医の同意は得られなかったと聞いています。無論、永続的に透析を止めることは出来ませんが、担当医が一時的にしろ透析を中断して患者の負担を軽くすることを決断してもらえよう、これからもサナモア光線療法を続けて頂きたいと思います。

それから時間が経過し退院まであと一週間となった頃、会社の同僚が見舞いに訪れてくれ、その際にサナモア光線療法の事を聞き、是非実施した方が良くというアドバイスしてくれました。退院後すぐに八戸市内のみのく光線療法研究所の戸賀沢先生を紹介してもらい、それから約一年、平成13年11月14日に至るまで、毎日通院し、また平成12年12月下旬より光線治療器はつらつさん2号機を購入して自宅でも腹、

主な検査成績の推移

検査項目	正常値	入院前	退院時	外来通院	外来通院	外来通院
		平成12年 10月10日	平成12年 11月16日	平成13年 1月15日	平成13年 3月5日	平成13年 10月30日
クレアチニン	0.6~1.3mg/dl	16.3	11.7	10.2	5.7	4.2
尿素窒素	6~20mg/dl	129	54	52	41	41
赤血球数	450~550万/ml	239	299	396	342	453

へ7ページからつづく
背中、肛門に合計140分間照射を
続けています。

平成13年11月までの経過を見
ると、一番変化のあったのは尿
量で、退院直後は100cc以下であ
ったのが、今では150cc以上の尿
量があります。入院直後から今
年の10月30日までの主な検査項
目の結果を表にしましたが、クレ

アチニンは入院直後劇だったの
が、10月30日の検査で42まで下
がりました。尿素窒素は120から
41まで下がっています。更に赤
血球数は正常値まで回復しまし
た。そして腹膜透析液の排液が
以前よりもかなり透明度が増し
ています。また検査の結果の数
字が出てこない部分でも、体の
だるさ重さが退院直後から比べ
ればかなり改善され、10月中旬
頃より、尿に色と臭いがついて
くるようになり、仕事をする体
力も徐々に戻りつつあります。
光線治療開始以来、何度か宇
都宮光明先生に医療相談の時間
を頂き、経過を報告してきた折
に、「今後の検査の結果次第で
は腹膜透析を中断して様子を見
て良い段階まで来ているのでは、
」との意見を頂きました。

以上がサナモア光線療法を一
年間行った現在までの状況です。
腹膜透析は一日四回、毎日やっ
ていますが、前記したような見
解を頂くまで腎機能が回復して
きました。今後も手を抜かず

根気よく光線治療を続けていく
つもりです。そして次回は透析
用のチューブを外したと報告で
きるよう頑張ります。

追伸

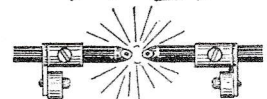
サナモア光線治療を始めてか
らのうれしい誤算として、毎年
5月中旬から6月いっぱいにか
けて、ブタクサの花粉による喘
息のような発作に悩まされてき
ましたが、今年は花粉症のよう
な症状が出ませんでした。また
透析をしていけば、体に蕁麻疹
のようなものが出ると入院中
に言われましたが全く出ていま
せん。

みちのく光線療法研究所
青森県八戸市石堂2-8-15
TEL(0178)29-3570

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験し
ないと信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
ついでに体験記をお送りく
ださいますよつ、お願いい
たします。

サナモア



Sanamo

サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命
力を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点に立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサナモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行。
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0003 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)三七九三―五二八―
三七二―五三二―

(本紙の無断転用を禁止します。)